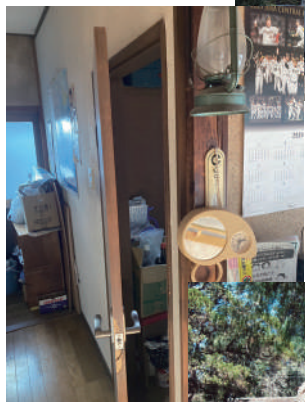


2025年2月21日~3月2日
10:00-17:30 入場無料

アーティスト
岡田真由美
久保沙絵子

記憶のつづき



岡田真由美 1997年東京生まれ。京都市立芸術大学大学院美術修士課程彫刻専攻に在籍。みえにくいものや消えゆくものをひろいあつめることから制作活動を行い、ゆるやかな状態の社会やとられない場の形成、発展を目指している。主な展示に「おじゃまします、あつめやさん。」(神戸六甲ミーツアート beyond2024・あつめやさん)や「アキヤ」(石川)などがある。



久保沙絵子 1994年兵庫県生まれ、大阪在住。2017年和歌山大学卒業。フリーハンドで描くこと、下描きをしないことをモットーに線画の制作を行なっている。線のみを集めて風景を描き出すことで、その風景のエッセンスだけを残す作品を探索している。ライフワークとして、スケッチ旅を行っており、現在は東京スケッチシリーズを制作中。クライアントワークでは、雑誌や広告のイラスト、企業冊子のイラストなどを手掛けている。

大阪公立大学大学院都市経営研究科
アートとまちづくり研究会

金子松美香 五反地一弘 酒井新一郎 中川渉 野村仁志

尼崎市 開明庁舎 1F エントランス

今年で阪神・淡路大震災が発生して30年になります。当時のことを鮮明に記憶している人もいるでしょうし、人から聞いた話やメディアの報道を記憶している人もいるでしょう。この展示では、人やまちが持っている「記憶」を展示することを試みます。そこにある写真や地図、もの、音…は些細でなんでもないものようですが、これらを元に語られることがあります。それは誰かににとっての思い出でもあります。きっと、みなさんが持つ記憶と繋がることもあるはずです。震災をきっかけに変わったものもたくさんありますが、変わらないものもあります。私にとっては当たり前のように思えることは実はそうではないのかもしれないし、私だけが抱えていると思っていることは、誰かと共有できることかもしれません。タイトルの「記憶のつづき」にある「つづき」には「延長、次にあるもの」と「続いていく具合、つながり方」の意味があります。人やまちが生きてきた時間に存在する記憶の「つづき」に思いを巡らせながら展示をご覧ください。

記憶のつづき

私たちが在籍している「大阪公立大学大学院 都市経営研究科」は社会人が働きながら通う大学院です。年齢も職業も住んでいる場所もバラバラな私たちですが、昨年10月にこの展示を企画してから、色々な写真や地図、思い出の品を見ながら、何が展示になるのか、アートって一体何なのかを考え、話してきました。側から見たら単なる「昔話に花咲かせている集団」だったかもしれません。皆で共感できることもあれば、初めて聞く話に驚いたり感動したり、ちょっと悲しい気持ちになったり…。でもそういう何でもないような時間を共有できることこそが、かけがえのないことだなと感じています。この展示があなたにとっても、様々な気持ちを感じたり共有できるような場になれば嬉しいです。

大阪公立大学大学院都市経営研究科

アートとまちづくり研究会

金子松美香 五反地一弘 酒井新一郎 中川渉 野村仁志

会期：2025年2月21日（金）～3月2日（日）

時間：10:00-17:30

会場：尼崎市 開明庁舎1Fエントランス
（兵庫県尼崎市開明町2丁目1番地1）

料金：入場無料

主催：大阪公立大学大学院都市経営研究科アートとまちづくり研究会、一般社団法人あまがさき観光局

共催：尼崎市

アクセス方法

●電車の場合 阪神電車「尼崎」駅下車、南へ徒歩約3分。

●バスの場合（停留所：阪神バス「阪神尼崎」）

JR神戸線「尼崎」駅（南）から阪神バス23番「阪神尼崎」行き

JR神戸線「尼崎」駅（北）から阪神バス11番「阪神尼崎」行き

阪急神戸線「塚口」駅から阪神バス13番「阪神尼崎」行きに

それぞれ乗車、「阪神尼崎」下車、南へ徒歩約3分。

問い合わせ先

一般社団法人あまがさき観光局（文化観光推進担当） 電話：06-6409-4946 FAX：06-6417-5146

